

# ほほえみ

01 11 11

浜松・松菱デパートの倒産、浜岡原発の事故・・・  
県内でもまさか！の暗いニュースが続きます。  
21世紀はもっと輝かしく明るい社会のはずでは  
なかったのか。  
時代や社会、ましてや今を生きる運命を怨んでも  
仕方ありません。  
せめて自分の心には明るさを保ちたいものです。  
病院のまわりの木々が紅葉しています。  
秋晴れの青空のもと赤や黄色に色づいた葉っぱは  
レンガの壁を背景に美しさを競っています。  
ふと上を見上げれば身近にも四季折々の美しさが、  
驚きが、発見があります。  
自然は癒しの風景です。  
うつむかないで顔を上げて歩きましょう。

## <第77回 ほほえみの会>

初参加の方も含め8人が参加しました

- ▽ 小学5年の男の子。盲腸の手術で腫瘍が見つかり転院。  
前の病院では治療が出来ないので専門病院へ行ってくださいと言うだけ  
でいっさい説明がなく追い出されるようにこども病院へ。  
本人も不安でシーツを投げたり、本を投げたりして暴れ、1週間ほど不  
安定だった。検査をして本人にも病気の説明をして今は納得している。  
病気の説明、治療法、リスクなど先生の対応に雲泥の差。  
こども病院は先生が丁寧で来て良かった。  
また入院で家の中が暗くなったことも心配。  
中1の兄が精神的に不安定になり、足の指の骨折をしてしまった。

- ▽ 2歳8ヶ月の男の子。再発でこども病院へ入院。  
ここでも前の医大病院との比較が話題に。

前の大学病院で再発が判った時に先生は、確率は1割から4割といきなり言う。何の確率が判らない。聞いて生存率と知る。

質問してもどうせ言ってもわからないだろうと言う態度で答えてくれない。医大のエリート意識があって、高飛車、派閥にこだわる。そのくせ点滴とかは下手で腕を真っ青にしても謝らない。最悪だった。その点こども病院はいい。が、一方で病棟内の汚れが気になる。バスタオルの下のシーツが汚れていたり、虫さされがひどかったりする。看護婦さんも忙しいだろうが気になることは言った方がいいだろうという意見が。

東京から静岡へ来て年子の姉は喘息が治った。が、環境の変化や遊び相手がいないからか円形脱毛症に。

病院付近の飲食店がわからない。マップとかがないだろうか。

また祖父母のことも話題に。心配をしてくれるし説明もしなければいけないがどこまでしたらいいか。気遣いも大変。

- ▽ 中2の男の子。退院して9ヶ月。元気に学校へ行っている。  
髪質が変わりチリチリになった。  
全身照射をしているが今後どんな影響がでるか心配。

次回は12月 9日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail [klikeda@nifty.com](mailto:klikeda@nifty.com)

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~hohoemi/>